

ひだか

HIDAKA GIKAI DAYORI

議会だより

第175号
令和元年7月31日



オムライス街道 第6弾キックオフイベント

行政報告……………2～3P

 審議したこと・決まったこと……………4～5P

 請願・陳情・議員提出議案……………5P

 臨時会・私の意思表示……………5～6P

 委員会活動……………7～8P

 行政視察研修報告……………9P

 一般質問に5氏が立つ……………10～14P

 議会日誌……………15P

 編集後記……………16P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

社会増39人(総務省人口移動報告)

2018年の総務省人口移動報告で、日高村の社会増減はプラス39人と、15年ぶりに社会増になった。

主な要因として、新築家屋等の取得による転入増が考えられ、高知西バイパスや治水対策などの効果がでてきたのではないかと思われる。

今後、空き家や空き地の活用を図り、定住人口の拡大を図っていきたい。

「日高の未来フェスタ」開催

3月24日に「日高村を良くする」をキーワードに昨年9月より7回の議論を重



日高の未来フェスタ

ねた取り組みの成果について、「日高の未来フェスタ」を開催し、村民や村内事業所等へ成果の発信を行った。

今回は、職員の立場から村を良くする取り組み発表であったが、次年度は村民等の立場からの発信による「日高の未来会議」の継続を確認した。

「能津トンネル建設促進期成同盟会」結成大会

5月18日に、「能津トンネル建設促進期成同盟会」結成大会が15人の参加を得て開催された。

能津トンネルの建設については、昭和29年の町村合併からの課題であり、新村建設計画にもうたわれ、新村の基盤を築くものとして位置づけられている。

これまで、トンネルの構想はあったが、本格的な検討や運動には結びつかなかった。現在進めている能津みらい会議での能津の活性化に向けた取り組みや、

県の推進する「龍馬の休日自然体験キャンペーン」に向けた仁淀川の活用など、今こそ能津と日下・加茂との一体化を図るため、トンネルの必要性が出てきた。

国道33号の高知西バイパス延伸に向けた取り組みなど、今が能津トンネル建設促進期成同盟会の結成のタイミングであると判断した。

大会では、

1. 能津地域・日高村の振興発展、高知県全体の活性化に大きく貢献する「能津トンネル」建設促進を図ること。

2. 国道33号地域高規格道路整備において、このトンネルを最大限に活用できる計画とすること。



能津トンネル建設促進期成同盟会結成大会

の2項目を確認し決議した。

この同盟会が結成されたことで、決議内容などを各関係機関に要望するとともに、国道33号と国道194号とを結ぶ、災害時の命の道としての役割なども含めて、幅広い視点から声を上げていきたい。

四国代表として 「喫茶わのわ2号店」

「カゴメオムライススタジアム2019」がアーバンドックららぽーと豊洲で開催され、四国代表として「喫茶わのわ2号店」(トマト村のまんぷくオムライス)が出場した。

5月17日の報道関係者用プレから始まり、18日、19日の3日間を通して、1千皿食を売り上げた。

結果は「こだわり野菜オムライス賞」を受賞し、日高村のオムライスを全国にアピールすることができた。



カゴメオムライススタジアム2019

高知仁淀ブルー ライド

「第2回 高知仁淀ブルーライド」のサイクリングイベントが、5月26日に開催され、村内を500人以上のライダーが駆け抜けた。

波川公園をスタート、第1エイドとして屋形船仁淀川に設置。屋形船ガイドさんや能津地元の方々の協力により、村の特産品シユガートマト・霧山のお茶・村のチョコケンピなどでもてなしをした。

コースに猿田洞へのお立ち寄りポイントが設置され、ほとんどの参加者が立ち寄った。

桐野伴秋さん 写真展開催

5月14日から6日間、「図書館ほしのおか」で、写真家桐野伴秋さんの「一瞬の中に永遠を宿す」桐野伴秋の世界へ地球美の幻風景作品展」を開催した。

この作品展は、キャリア教育の一環として、村内の保小・中学校の子どもたちにも鑑賞の機会を設けた。

子どもたちは、美しい写真の世界に驚きと感動で心を揺さぶられ、このような機会を通して情操を高め、心豊かな成長を願うところである。

期間中には、村内外より1千59人の来場者があり、身近で素晴らしい作品に触れる喜びの声が多数あり、良い機会を提供できた。

加茂・越知中学校の 連合チーム 全日本少年軟式野球 四国大会に出場

3月に高知県中学校選抜大会兼全日本少年軟式野球高知県予選大会で、見事に準優勝を果たした加茂・越知中学校の連合チームが、5月25日から26日に香川県で開催された全日本少年軟式野球四国大会に出場した。結果は1回戦で、愛媛県のチームに敗れたが、見



加茂・越知中学校野球部

日高村カルテット・ プロジェクト事業

本年度より、地域・家庭・教育・福祉の連携による「日高村カルテット・プロジェクト事業」に取り組むこととした。

さまざまな課題を抱えた子どもたちに対して、地域と家庭と教育と福祉が連携し、教育と福祉の各部門が協働した専門家チーム「教育・就労サポートチーム」として、体制を整え、子どもたちの人生の各ステージで、それぞれの役割を重ね合わせた多様な支援を切れ目なく行い、また学齢期と社会への移行期に重点を置いた支援の仕組みづくり、社会的自立を目指す取り組みである。

日高村の将来を担う子どもたちが、安心して暮らせる日高村の実現につなげたい。

事な戦いぶりであった。また、高知放送招待大会でも第3位の成績も残した。小規模校ゆえ、単独チームを組めないなか、練習環境や時間などのハンデいを乗り越えての四国大会への出場であり、加茂中学校の選手をたたえたい。

審議したこと

令和元年第2回定例会

決まったこと

R元.6.6~6.13

6月議会では、同意(人事)2件、条例関係3件、予算関係4件、その他3件、陳情1件、議員提出議案1件の計14件が決まった。

人事

◎固定資産評価審査委員会委員に山岡茂男氏を選任することに同意した。



山岡茂男氏

住所 日高村岩目地133
2番地3
生年月日 昭和24年3月2日
任期 令和元年6月25日から令和4年6月24日まで

◎固定資産評価員を選任することに同意した。

氏名 隅田 静
住所 いの町波川695番地7
生年月日 昭和43年5月2日

条例

◎日高村課設置条例の一部を改正する条例
産業環境課で対応していた、地籍調査に関する事務を7月1日より、建設課に移動するもの。

◎日高村交流拠点施設の設置及び管理に関する条例
日高村交流拠点施設の建設に併せて、設置及び管理に関する条例を制定するもの。

質疑

問 利用条件の上限は、これ以上にならないのか。
また積算根拠は。

答 条例は、宿泊の部屋ごとの利用料金上限を定め、基本単価は5千円で計画している。利用料金の上限は観光シーズン等の対応を考えている。
積算根拠は、近隣の市町村のゲストハウス等の宿泊料金等も勘案し、ま

たコンサルタント等に経営を相談しながら、金額を設定した。

問 シャワー利用料金は、素泊まりの場合も500円いるか。

答 宿泊者の方、宿泊しない方、立ち寄って利用できるようにコインシャワーを考えている。

◎日高村議会の議員に対する期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例

昨年の人事院勧告に基づき、改正された一般職の職員の手当の率に合わせ改正を行うもの。

予算

◎令和元年度日高村一般会計補正予算(第2号)
歳入歳出の総額にそれぞれ3千777万6千円を追加するもの。

◎令和元年度日高村民健康保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出の総額にそれぞれ23万8千円を追加するもの。

◎令和元年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出の総額にそれぞれ8万6千円を追加するもの。

◎令和元年度日高村介護保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出の総額にそれぞれ84万8千円を追加するもの。

その他

◎村道の路線認定について
清水田2号線・清水田3号線・清水田4号線を村道に認定する。

◎公の施設の指定管理者の指定について

5月22日に指定管理者選定委員会が開催され、日高村交流拠点施設について、NPO法人日高わのわ会を指定管理者の候補者に選定したので、議会の議決を求めらるるもの。

◎能津保育所新築工事の請負契約について

5月29日一般競争入札に付した、能津保育所新築工事の請負契約について、議会の議決を求めらるるもの。

決まったこと
請願・陳情

◎若者も高齢者も安心して暮る年金制度への改革を求めらるる意見書採択についての陳情書

提出者 全日本年金者組合
高知県本部
執行委員長
小橋則通
採決 全員賛成 採択



令和元年度6月議会
議員提出議案

◎若者も高齢者も安心して暮る年金制度の改革を求めらるる意見書

提出議員 森下芳文
賛成者 全議員

第2回
臨時会

報告

5月14日第2回臨時会が開催され、承認4件、議案5件が可決された。

◎平成30年度日高村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

◎平成30年度日高村簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

承認

◎専決処分の承認を求めらるることについて

1. 日高村国民健康保険条例の一部を改正する条例
①国民健康保険税の課税限度額（基礎分）の引き上げ。

②国民健康保険税の減額の対象となる所得の基準の引き上げ等。

算（第4号）
歳出予算の組み替えを行うもの。

2. 平成30年度日高村一般会計補正予算（第8号）

4. 村税条例の一部を改正する条例

歳入歳出予算の総額からそれぞれ2千57万4千円を減額するもの。

①関係法令の改正に伴う適用条項等の文言修正。

3. 平成30年度日高村国民健康保険特別会計補正予算

②市町村民税における住宅ローン控除の拡充に伴う措置等。



プレオープンした日高村観光案内所

条 例

◎日高村観光案内所の設置及び管理に関する条例

日高村観光案内所について、地方自治法第244条の2の規定に基づき、条例を制定するもの。

予 算

◎令和元年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ49万8千円を追加するもの。

そ の 他

◎能津辺地の総合整備計画の変更について

◎日下辺地の総合整備計画の変更について

◎小中学校空調設備工事の請負契約について

4月26日指名競争入札に付した、小中学校空調設備工事の請負契約について、議会の議決を求めるもの。

質疑

問 工期が10月6日であるがゆえに消費税が10%になる。消費税が8%のうちに収めることは可能ではないか。

答 平成31年4月1日以降の契約で、令和元年10月1日以降の工期であれば、10%の消費税で契約をしなければならぬ。

最低でも、工期日数を10月6日まで取らなければならぬ。9月末に完成等できれば、8%の消費税での契約変更できる。

問 夏の暑い時期に役立たない状況について、この工期を改める考えはないか。

答 学校と相談し、土・日曜日、放課後できる工事から進める。また日下小学校は台数

が足りてないので先に進め、業者との打ち合わせによって、なるだけ早期の完成に向けて取り組む。

問 エアコンが付くのはいつになるか。

答 暑い時期に間に合うように、業者が決まり次第、学校と詰めて、優先事項を決め、子どもたちが困らない状況をつくる。工事のできる時間帯と授業の状況によって、工期が大幅に違ってくる。

問 村内の業者を極力使うことを要望してきた。村外の業者に決まった結果となった経過を問う。

答 村内で管工事、電気設備関係の全業者を指名したが、入札の結果このようになった。



私 の 意 思 表 明

5月第2回臨時会

○賛否の分かれた議案等

○:賛成

●:反対

議案	氏名	山中鶴幸	藤原利彦	池田雄	森下芳文	横山泰昌	西川龍子	野村重夫	尾崎政廣	戸梶章	森下雅文	結果
なし											議長	

(5月第2回臨時会 全会一致 9件)

6月第2回定例会

○賛否の分かれた議案等

○:賛成

●:反対

なし											議長	
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

(6月第2回定例会 全会一致 14件)

※賛否の分かれた議案は全て掲載していますが、全会一致の議案につきましては紙面容量によりまして省略しています。※議長は、議決に加わらないが、賛成、反対が同数となったときは、採決権の行使をします。

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 西川龍子

5月27日(月) 午前10時より

隅田住民課長より

1. 確定申告は30件増の517件
2. 今議会に提案の補正予算の2件について報告を受けた。

井上教育次長より

1. ヘルメット購入補助事業
2. 図書館事業の「桐野伴秋氏写真作品展」に1千59人来場者があった。
3. 今議会提案の補正予算

について報告を受けた。

吉岡教育長より

「日高村カルテット・プロジェクト」事業について、教育、就労サポートチームによる学習、進学、就労、自立支援への取り組み等、支援体制について説明を受けた。

山崎企画課長より

1. 19件の取り組み状況と5件の業務取り組み状況について
2. 今議会提案予定の補正予算について、それぞれ報告を受けた。

森下総務課長より

1. 主な行事4件と今議会提案の議案5件と、補正予算4議案の計13件について報告を受けた。
2. 村有財産の払い下げ3件について、1件は払い下げ、2件は交換と

の説明があり、全会一致で承認し、委員会を閉会した。

経済建設厚生

常任委員会



委員長 野村重夫

5月24日(金) 午前9時30分より

松岡産業環境課長より

1. 村の駅ひだかの平成30年度状況の報告
売上総額は2億2千464万3千円で前年度比96・7%。レジ通過数は19万9千738人で前年度比96・9%となっている。

4月26日には、レジ通過者数が90万人を達成することができ、村長から高知市在住の方々に記念品を贈った。秋

2. 6年目を迎えたオムライス街道
平成30年度のオムライス販売数は6万2千146食、ナポリタンが3千775食で、販売総数が

には100万人を達成する見込みという報告があった。

6万5千食、5年間の総販売数は32万食を突破した。
今年も6月12日に能津小学校で第6弾のスタンプラリーのキックオフイベントを開催する。



村の駅ひだかは90万人を達成。記念品贈呈時には取材を受けた

谷脇健康福祉課長より

- 1. 村の総合健診
 - 能津地区 5月22日
 - 下分地区 5月23日
 - 加茂地区 5月24日
 - 本郷地区 5月26日
 - 沖名地区 5月27日
- 2. 戦没者追悼式を8月15日に行う(社会福祉センター)。

大川内建設課長より

日下川床上浸水対策特別緊急事業について、いの町側における放水路トンネル工事が発注され、4月20日に工事箇所となる大内南の谷地区日下川放水路対策協議会への工事説明を実施し、工事内容等については、チラシなどで定期的に地域住民への周知を図っていくことで、了解を得ている。

4月25日、大内地区日下川放水路対策協議会への工事説明を行ったが、協議会からの要望事項について合意に至っていないことから引き続き協議を行っていく。

日高村振興対策特別委員会



委員長 戸梶 章

5月30日(木) 午後2時30分より

山崎企画課長より

- 1. 前回委員会以降の取り組みについて
 - 平成31年3月17日(第5回)と4月14日(第6回)に能津みらい会議を開催した。
 - 2. 4月15日に能津みらい会議の畑山会長より、能津地区の振興計画が村に提出された。
- 振興計画の要点は、「未来うまれる 笑顔つながる 日高村能津」を達成するためのビジョンとして、能津保育園と小学校から子どもたちの楽しそうな笑い声

が響き、昔からの住民も、外から帰ってきた人も、新しく来た人も、みんながずっと暮らし続けたい、ふるさと能津地区創りを目指す。

目標は、2023年度までに保育園児を15人以上、小学校児童を25人以上の確保を図るべく、能津地区に10世帯分の集合住宅を整備するなどし、移住者10世帯、30人の人口増を実現する。

3. 能津地区の未来に向けて

- ① 能津に関する情報発信を積極的に行い、能津地区への移住を希望する人を増やす。
- ② 観光客や交流人口を増やすために、豊かな自然と住民の知恵を生かした体験プログラム等を充実させる。
- ③ 住民が楽しく豊かに暮らし続けていくために、豊かなコミュニティ文化を醸成する。

委員より

産廃施設の跡地利用等についても、能津みらい会議と一緒に検討するべきとの意見があった。

日高村治水対策特別委員会



委員長 尾崎政廣

5月30日(木) 午前10時より

前田治水対策室長より

- 1. 前回委員会以降の取り組み状況
 - ① 大内南の谷地区 第10回大内南の谷地区日下川放水路対策協議会開催
 - 日時 4月20日
 - 場所 いの町南の谷コミュニティセンター
 - 内容 日下川新規放水路(吐口側)工事
- 説明

② 大内中の谷地区

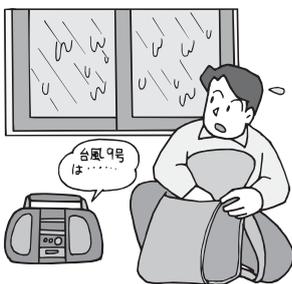
第7回大内地区日下川放水路対策協議会開催日時 4月25日
場所 農村婦人の家
内容 要望事項協議

2. その他 床上浸水対策特別緊急事業、工事進捗状況

- ① 国事業 吐口側工事、導水路工事、放水路橋付け替え工事
- ② 県事業 河川改修
- ③ その他 残土処理場状況

3. その他

日高村総合治水対策推進に関する条例の進捗状況。以上の説明を受け、その日の会を閉じた。



議員行政視察研修 報告

5月8日から10日に、兵庫県庁、兵庫県丹波篠山市、徳島県吉野川市を行政視察した。

〓総合治水条例について〓
兵庫県総合治水課

これまでの治水は「降った雨水は河川に集めて、早く流す」ことを基本とし、河川の整備等を進めてきた。近年、台風に伴う雨だけでなく、局地的



総合治水条例を制定している兵庫県を行政視察

大雨により従前よりも浸水による被害が拡大した。

そこで、県・市町・県民が協働して、「ながす」、一時的に貯留、地下に浸透させる「ためる」対策、浸水しても被害を軽減する「そなえる」対策を組み合わせ県内全域で総合治水の取り組みを実施した。

県土を11地域に区切り、各地域で「地域総合治水推進計画」を策定し、それぞれの市町での取り組みを進め、水害に強い地域社会を目指している。



丹波篠山市 鳥獣被害対策を行政視察

〓鳥獣被害対策について〓
兵庫県丹波篠山市

兵庫県の中東部に位置し、元号が令和に変わる5月1日に合わせ「篠山市」から「丹波篠山市」に市名を変更した。

全面積の4分の3が森林で、イノシシ・シカ・サルへの対策として、地域ぐるみで鳥獣被害対策に取り組んでいる。鳥獣被害を地域で共有し、共通認識を持ち、対策を考え、地域が1つとなり集落を守った。自分たちの地域の被害と原因を考え、



水害に強いまちづくり条例を制定する吉野川市を行政視察

効果的な被害対策に取り組む必要があると感じた。

〓吉野川市水害に強いまちづくり条例について〓

徳島県吉野川市

徳島県の北部、吉野川の中流部に位置し、平成16年台風23号の甚大な被害を受けた。

国・県・市が一体となり吉野川に流れ込むほとる川の内水対策を実施、ハード面の施設整備だけではリスクを完全になく

すことができなないと考え、吉野川市水害に強いまちづくり条例を制定した。

条例では、開発調整区域を指定し開発の規制を図り、許容湛水位より低い位置での開発や造成、家の建築は、何らかの減災措置を講じなければならぬなどの内容である。

今後、総合治水条例を制定するにあたり、参考とすべき内容の研修となった。



野村重夫議員

米軍の低空飛行訓練 一歩間違えば重大事故

一般質問に5氏が立つ

質問 4月11日午後1時ごろ、

本山町上空で米軍戦闘機2機が、事前の情報提供なしに低空飛行訓練を実施した。その約40分後に、同じ空域でドクターヘリにより、緊急搬送があった。

知事は、12日に米軍機の超低空飛行の停止と低空飛行訓練に関する事前の情報提供を求めた要請書を外務省と防衛省に出している。

本山町では、保育園のすぐ上で、低空飛行訓練を実施し、小学校もすぐ近くにある。この衝撃音は107デシベルで、飛行機の離着陸音が110デシベルといわれており、それに匹敵するような衝撃音だった。

この衝撃音は、住民が生命の危険を感じるレベルの恐怖だったようだ。嶺北地方は、能津の隣であり、日高村もヘリポートがあり、いろんな条件

の中で、低空飛行の根拠となつている日米地位協定の抜本的な改定を求めて、声をあげていくべきだと思ふがどうか。

答弁 戸梶村長

一連の米軍の飛行訓練の出来事については、一歩間違えば、重大な事故につながりかねないと認識している。地域住民の安全な生活を守らなければならぬ自治体として、ゆゆしき問題である」とらえている。

平成30年4月に全国知事会として、米軍基地負担に関する提言をしている。

知事会の提言、そして尾崎知事が、この問題を日米安全保障問題についての理解を示しながら、県民の安全というかたちの中で、先頭を切つて、防衛省を含めて要望もされている。我々は、その知事の活動を後押ししていく、スタンスは変わらないと思ふ。

後期高齢者の 患者窓口負担 1割から2割に

質問 75歳以上の患者窓口負担は、今、1割である

が、国の財政問題審議会の社会保障で審議されている。日高村の後期高齢者は、何人で、昨年の医療費はいくらか。

答弁 隅田住民課長

2019年1月1日の後期高齢者被保険者は1千119人で、そのうち自己負担額が3割の被保険者24人を除く、1千95人が1割の被保険者となっている。

平成30年度の医療費は、1人あたり年間117万8千円で、総額にすると13億円となっている。

質問 後期高齢者の医療費

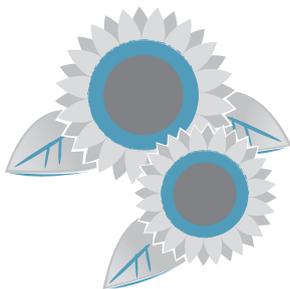
が去年と同じくらいかかったら、2割負担となると、倍になる(26億円)。消費税を全部、社会保障につぎ込んでいる姿ではない。

消費税は10%になる。年金は削られる。生活は

厳しくなるばかりだ。
答弁 藤田副村長
それでも、消費税は社会保障に充てられている。

その他の質問事項

- 高すぎる国民健康保険税
- 介護保険利用料の原則2割化
- マイナンバーについて



村の基幹産業である トマト栽培について



藤原利彦議員

質問 日高村広報に減価償却資産の届け出をするように出ていたが、減価償却資産税の概要を聞く。

答弁 隅田住民課長
固定資産のうち、土地と家屋以外の事業用資産で、機械、器具、備品等の償却資産に課せられる税金のことで申告により、その課税標準額の合計が150万円以上となる場合に課税(税率14%)される。

質問 生産者のほとんどがJAからのリースで経営しており、その資産はJAの持ち物である。JAから償却資産の届け出はあったか。

答弁 隅田住民課長
現在、JAからの正式な届け出はない。

質問 償却資産税の対象とならないものとしてリース契約で借りている資産とあるが、生産者とJAとの契約がどうなっているか、把握しているか。

答弁 松岡産業環境課長
リース契約については、すべてを把握しているわけではないが、基本的な契約は把握している。改訂等があり、いくつかのパターンがあり、大まかにいうと利用物件の引き渡し後に発生する経費は、すべて生産者が負担する。

また、管理運営細則の中に、通常必要な経費は借受者が負担するとある。機器類のリース契約では、リース料に固定資産税相当額が含まれていると聞いている。

質問 既に、減価償却が終わっている者は、それほどの負担にならないが、新規参入者ほど重く、まだ経営が安定していない時期の税負担は、相当の重荷になると思われる。何らかの方策が必要だと思いが、村としての考えを聞く。

答弁 松岡産業環境課長
新規就農の方や新しくハウスを建てた方などに對し、支援策は必要だと思ふ。多くの不安を抱える多額の投資をして、就農している方に対して、無条件というわけにはいかないが、何らかの支援策は検討していきたい。

答弁 大川内建設課長
現時点での改修工事計画はない。

質問 現在、佐川町加茂地区に産廃施設建設の話があるが、地元対策として、長竹川の改修工事の話があり、筋違橋から六所橋までの区画が取り残されることのないように陳情することが必要だと思ふが、考えを聞く。

答弁 大川内建設課長
長竹川の改修計画が、どうなるか状況を注視しつつ、今後判断していく。

その他の質問事項

- 重油代補填の件
- 再生産価格の件
- 加工場の件
- 岩目地交差点の件
- 学校へのエアコン取り付けの件

日下川改修工事

質問 筋違橋から六所橋までの区間の工事はどうなっているか。



改修工事計画のない筋違橋から上流の日下川

少子化対策で人口増を



西川龍子議員

質問 高知県の人口に占める子ども数の割合は、11・2%と全国で43番目、昨年比で1千人減の7万9千人とあった。日高村も数年前は、年間約30人前後の出生数で推移していたが、現状は。

答弁 隅田住民課長

4月1日現在の子どもの数は、村人口5千28人に対し43人で、人口に占める割合は9・01%、昨年の村出生数が20人だった。

質問 児童虐待防止法の強化に向けた検討の中で、

家庭内のしつけ名目での体罰が、来年4月から法律で禁止となる。しつけに悩む保護者と子どもを守る観点から、群馬県が実施している、ほめて伸ばすしつけ、叱らないしつけの「ほめトレ」を導入し、小さな宝を大きな宝にと思うが。

答弁 井上教育次長

大事なことだと思う。現在、家庭保育中の親子を対象に季節に合った行事や保護者への講座、講演等を実施。その中では



すくすくひろば「子育て講座」

めて育てる大切さについて話している。10月には、公認心理士の指導で、ほめて伸ばすトレーニングも予定しており、今後とも健やかな育ちにつながる取り組みを進める。

質問 幼児教育・保育を無償化とする改正、子ども子育て支援法が成立、10月よりスタートする。保護者負担は給食費、送迎バス、遠足等の行事費となった。

現在、副食費分は保育料に含まれており、主食のみ持参となっている。給食費分は、どのくらいと試算しているか。保育園の給食については、食育の観点から冷たい物は冷たく、温かい物は温かくを目指す。夏場の心配や冬場の冷たいご飯では、かわいそうだと思う。

働く母親の支援策と、子育てしやすい、生み育てやすい環境の一環と人口増を目的として、保育園の完全給食と無償化を望むが。

答弁 戸梶村長

給食費の徴収について、設定金額や必要額等についての事業所の現状

や考え方等、国の設定額等についても現段階では、不確定な部分がある。幼児教育の無償化実施までに検討していく。主食についても給食提供の法人の意向も伺いながら、今後検討していく。

防災対策について

質問 防災情報の伝え方が変更、新警戒レベルの運用となった。「聞こえなかった」「知らなかった」では、人命は救えない。情報の周知徹底について問う。

答弁 森下総務課長

村内の情報伝達はIP告知端末機、屋外スピーカー、エリアメール、日高村メールサービス、マスコミ等による周知等で、伝達となる。

屋外スピーカーは風雨により、聞こえづらいこともあるが、緊急時には、屋内の端末機の音量を最大にして放送する予定である。自分の命は、自ら守る意識を持って、適切な避

難行動をとってほしい。

ごみ出し困難世帯への支援策

質問 高齢者のごみ出し困難世帯への支援策について、環境省が調査、今夏より5カ所の自治体を選びモデル事業を実施し、結果と先進事例を集め、ガイドラインを策定する。村の現状は。

答弁 松岡産業環境課長

この支援については、今後の重要な課題と認識している。国のガイドラインを参考に支援策を検討する。

その他の質問事項

- 小中学校の給食費の無償化
- サポーターカーに補助金制度
- 国土強靱化法の地域計画について
- 粗大ごみ収集を
- 災害時の障がい者支援ハ
- ンドブック

国道33号安全対策・ 交通渋滞緩和策について



山中鶴幸議員

質問 当村を東西に抜ける国道33号の歩行者の安全を考慮すると、小村神社入口と岩目地交差点に、ガードレール並びにガードポールを設置が必要と考えるが。

次に、長山田地区入口、日高特別支援学校入口、妹背地区入口、そして望ヶ丘団地入口と、岩目地の各交差点に右折車線の設置をすることにより、交通渋滞の緩和が図られると考えるが。

次に、西ノ越地区入口の押しボタン式交通信号機は、高知方面に向かう車両

は、信号機を視認し難い。また手前が長い直線道路で、妹背地区入口では、度々交通事故が発生し、この事故防止対策として、高知方面への車両に対し、押しボタンの位置は変更せず、信号機の設置位置を妹背入口の西側に設置する。

あるいは、予告信号機の設置をすることが良作と考えるが。

次に、国道33号改良工事で、沖名入口交差点の高知方面と役場前交差点の佐川町方面への右折車線の設置が計画されていると思うが、確認をする。

また、この両交差点に右折車線に対し、ガードレール並びにガードポールの設置が必要と考え、改良工事施工の中で設置を求めたいが。

答弁 大川内建設課長
小村神社前の交差点

に、ガードレール及びガードポール設置については、今後、国土交通省並びに高知県警察により、交差点部の歩行者等の安全対策について検討をすると聞いており、これらの検討内容を注視し設置について要望をしていきたい。

岩目地交差点は、現在歩道がなく、まずは交差点改良の事業実施を国土交通省及び高知県の方に、引き続き要望していく。

国道33号の交通渋滞対策について、日高特別支援学校の入口交差点は、現在国土交通省が進めている交通安全対策（歩道整備）により、右折レーンが整備される計画となっている。

次に、岩目地交差点は、引き続き国土交通省及び高知県に事業実施の要望をしたい。

望ヶ丘団地入口は、私道であり、右折レーンの設置は難しいと考える。また国土交通省は、国道・県道・市町村道における二車線主要道路との平面交差で、過去の事故や渋滞状況を考慮し、警察とも協議をし、右折レーン設置の必要性緊急性などを判断しており、村内では、現在、日下橋交差点改良に鋭意取り組んでいる。村としても、次は、岩目地交差点改良を要望している。

現在行っている日下橋交差点改良事業は、交通安全対策事業であり、日下橋の交差点改良による右折レーン及び歩道の整備を行っている。また、この事業では、役場前は、右折レーンの計画はないと聞いている。

日下橋交差点のガードレール並びにガードポールの設置については、国土交通省に設置の検討をお願いしたい。役場前については、現在、村道改良計画を作っており、その計画と合わせて、国土交通省と協議を進めたい。

その他の質問事項

○日高村補助金について

答弁 森下総務課長

西ノ越地区入口の押しボタン式信号機は、以前にも妹背自治会より交通事故等が多発しており、再度信号機の設置等の要望があった。

この件で国土交通省、警察等の協議の中で、新たに信号機の設置・移動は難しく、ドライバーにカーブ及び交差点の認識と減速をさせ、交通事故を抑止するため、歩道の縁石上にポストコーンを5本設置している。



総合治水条例 無条件の私権制約は 法的に無理



森下芳文議員

質問 先の議員研修で条件をつけるならば、私権制約も可能なことが確認できた。日高村での条件は、どのようなことを考えているか。

答弁 大川内建設課長

平成26年12号台風相当の雨量を想定し、その上で浸水が想定される区域を何らかの形で指定していきたい。

指定区域内での開発行為、宅地の造成、家の建設など、農地の利用もどいう形で組み込むか、議論になると思う。

答弁 戸梶村長

課長が答弁したのは一部、ある程度規制的なものは考えないといけない。専門家も入っているのので委員会の判断にゆだねたい。

許容湛水位

【許容湛水位とは、一級河川流域にある樋門が設置されている河川では、樋門が閉じると、流域に降った雨水（内水）という）が滞水する。このような状況で許容する上限として定められた水位のこと】

質問 日下川、戸梶川について、許容湛水位は現時点で設定されているか。

答弁 大川内建設課長

現在取り組んでいる仁淀川床上浸水対策特別緊急事業（日下川）、この事業における許容湛水位は18・4mが出され、これに家屋の床高45cmを想定し、加算した18・85mが設定されている。

工損の事前調査 （公共工事に伴う 損失補償）

質問 事前調査の要綱、仕様書の内容を十分説明して、周知徹底して行わないと、確認の印が意味をなさなくなる。

答弁 大川内建設課長

説明会への参加率が低く、個別に訪問をして、事業の理解を得て進めていく。

質問 床上浸水対策事業だけでなく、村庁舎の事業においても、事前調査を丁寧に徹底して行う必要がある。村長の認識を問う。

答弁 戸梶村長

事前の調査等の比較ができないような状態にな



新庁舎建設に伴う工損調査説明会

ると、後の事業の対応もできなくなるので、十分に気を付けてやっていきたい。

防災対策

質問 日高村の防災対策、備えは万全か。

答弁 森下総務課長

昭和50年、平成26年の台風による冠水状況のハザードマップ等をホームページで公開しているのので確認していただき、早め、早めの避難をしていただきたい。状況によっては、自宅の2階で山側でない場所に避難するなど対応をしてほしい。

質問 最近、住民が独自に避難スイッチを設定して行動する取り組みも紹介されているが、取り入れる考えはないか。

答弁 森下総務課長

日高村は、かなり水位計を設置しているので、水位情報は、防災情報で閲覧できるので、参考となる場所の水位を確認してもらうよう周知していく。

その他の質問事項

- 人口対策
- 通学路の安全対策
- 村長の政治姿勢
- 日下能津間トンネル
- カルテット・プロジェクト
- 他7項目

議
会
日
誌

4 / 8 佐川高等学校入学式

森下(雅) 議長

10 仁淀川期成同盟会
会計監査
森下(雅) 議長

11 議会広報発行調査
特別委員会
西川・山中・野村
森下(芳)・藤原
森下(雅) 議長

14 能津みらい会議
山中・藤原

20 日下小・日高中学
校教職員歓迎会
森下(雅) 議長
西川

21 行政連絡協議会
西川欠席

23 いの地区地域安全
協会通常総会
森下(雅) 議長

25 例月現金出納検査
野村

27 能津小学校教職員
歓送迎会
池田・尾崎

5 / 8 ~ 10

27 加茂小中学校教職員
歓送迎会 藤原

議員行政視察研修

13 道路整備促進期成
同盟会高知県地方
協議会通常総会・
道路整備促進高知
県大会
森下(雅) 議長

14 臨時会・全員協議
会

15 高岡郡町村監査委
員協議会総会

18 能津トンネル整備
促進期成同盟会結
成式
森下(雅) 議長
戸梶・尾崎・西川
横山・池田・藤原
山中

20 仁淀川改修期成同
盟会通常総会
森下(雅) 議長

22 指定管理選定委員
会

23 例月現金出納検査
野村

24 高幡町村議会議長
会総会
森下(雅) 議長
ひだかつこ未来応
援会議総会
戸梶副議長
経済建設厚生常任
委員会
野村・藤原・尾崎
横山・山中
森下(雅) 議長

27 総務常任委員会
西川・池田
森下(雅)
森下(芳)・戸梶

28 ~ 29 全国町村議会議
長・副議長研修会
森下(雅) 議長
戸梶副議長

30 日高村治水対策特
別委員会
尾崎・戸梶
森下(芳)・池田
山中
森下(雅) 議長

30 日高村振興対策特
別委員会
戸梶・池田・尾崎
横山・藤原
森下(雅) 議長
議会運営委員会
戸梶・藤原・尾崎
横山・森下(芳)
森下(雅) 議長

31 高知県町村等監査
委員研修会・総会
野村

6 / 3 国道33号整備促進
期成同盟会総会
森下(雅) 議長

8 第39回日高村ふく
しふれ愛運動会
森下(雅) 議長

18 新庁舎建設検討委
員会
森下(雅) 議長
西川

19 日高村佐川町学校
組合議会
森下(雅) 議長
西川
入居者選考委員会
尾崎・森下(芳)
池田

21 日高酒蔵会総会
森下(雅) 議長
横山・森下(芳)
戸梶・藤原・山中

26 例月現金出納検査
野村

27 高知中央西部焼却
事務組合議会臨時
会
西川・藤原
仁淀川下流衛生事
務組合議会臨時会
山中

28 佐川高等学校「い
のち輝け」さくら
咲くプロジェクト」
発表会
森下(雅) 議長
森下(芳)・藤原

30 「スノーピークか
わの駅おち」落成
式典
森下(雅) 議長

編集後記

団塊世代すべてが、75歳以上になる2025年問題を乗り越えた次の課題は、高齢者人口がピークを迎える2040年問題である。

これは、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2042年には3千935万人とピークを迎え、その後は、毎年90万人ぐらいの人口減少となる激動期に入るとの予測がある。

また、出生率も減少傾向のまま推移しており、日高村内でも近年まで、年間30人前後で推移していた出生数が、昨年は20人だった。

日高村の30年先、50年先を見据えた人口増対策が急務となる。いままでも治水対策や防災対策、子育て支援策や健康長寿への取り組み、また宅地開発等々、人口増に向け、知恵を出し合い協力して取り組んできた。

今議会でもさまざまな要望や意見があった。高齢者の皆様の安心、安全

で暮らしやすい日高村を、そして通勤圏内である日高村に、より多くの

若い方々に喜んで、定住していただける施策に取り組みたい。



雨の中での一斉清掃

次回の定例議会は、9月5日(木)午前10時に開会の予定です。
お気軽に傍聴に、お越しください。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 森下 雅文

議会広報発行調査

特別委員会

- 委員長 西川 龍子
- 副委員長 山中 鶴幸
- 委員 野村 重夫
- 委員 森下 芳文
- 委員 藤原 利彦

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。